

令和8年度 愛光中学校入学試験問題

社会

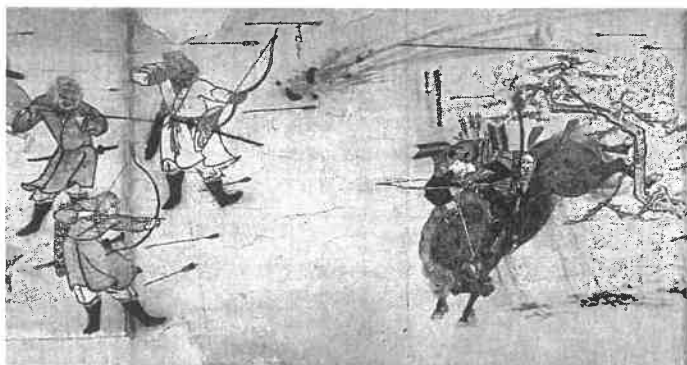
《答えはすべて解答用紙に記入しなさい。選択問題については、記号で答えなさい。》

- 1 次の【A】～【D】の文を読み、文中の空らん〔1〕～〔4〕にあてはまる語句を記入し、後の問いに答えなさい。

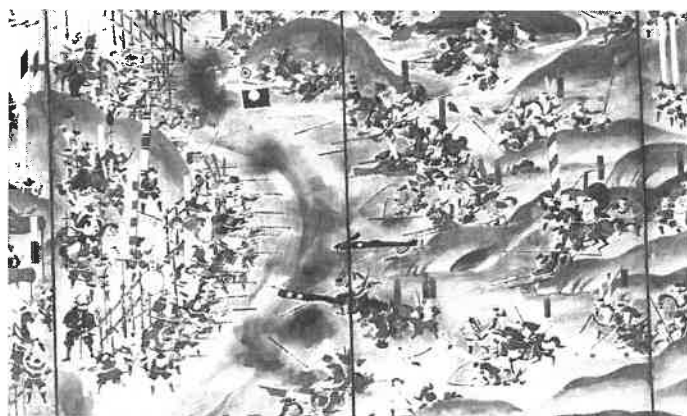
【A】右の絵は、1159年に京都でおこった〔1〕の乱のようすをえがいたもので、源氏の武士たちが朝廷方の貴族の屋しきに火をかけ、せめこんでいるようすがえがかれています。このころ、天皇家や(ア)藤原氏一族内部で、あとつぎなどをめぐって親子や兄弟が対立すると、それぞれが源氏や平氏の武士団を味方にして戦いをおこしました。(イ)こうした戦いで活やくした平氏は、〔1〕の乱で源氏を破ると、朝廷内における力を強め、後には、貴族をおさえて政治の実権をにぎるようになりました。



【B】右の絵は、(ウ)1274年に博多湾岸に上陸した元軍を相手に、肥後国(熊本県)の御家人である竹崎季長が奮闘しているようすをえがいたものです。13世紀後半にモンゴル人が中国を支配し元という国をつくると、朝鮮半島の高麗を従えました。そして、日本にも元に従うようにと何度も使者を送ってきました。しかし、幕府の執権である北条〔2〕がこれをこばむと、元軍は2度にわたり九州北部にせめてきました。御家人たちのがんばりや暴風雨などもあって、なんとか元軍を退けましたが、この戦いの後、(エ)幕府と御家人の関係はしだいにくずれていきました。



【C】右の絵は、1575年に〔3〕でおきた、織田信長・徳川家康の連合軍と武田勝頼軍との戦いのようすをえがいたものです。強力な騎馬隊をもつ武田軍に対して、(オ)織田・徳川軍は、鉄砲を使った新しい戦法で戦いました。この戦いに勝った織田信長は、琵琶湖の近くに築いた〔3〕城を拠点に全国統一をすすめますが、それをなしとげる前に、京都の本能寺で家来の明智光秀におそわれて戦死します。その後、(カ)信長の家来だった豊臣秀吉が、明智光秀をたおして全国統一をひきつぎ、信長の死の8年後に統一をはたします。



【D】右の絵は、1877年に西郷隆盛をかついだ鹿児島島の土族たちが、田原坂(熊本市)で政府軍と戦っているようすをえがいたものです。明治になって、社会のしくみが大きく変わっていく中で、(キ)政府の改革に不満をもった士族が各地で反乱をおこしましたが、その中で最も大規模なものがこの「4」戦争でした。これらの反乱はすべて政府軍によってしずめられ、これ以降武力による反乱はなくなり、(ク)人々は言論によって自分たちの考えをうったえていくようになりました。



問1 下線部(ア)に関連して、平安時代に藤原氏がおこなったことについて述べた文として正しいものを、次の中から1つ選びなさい。

- (ア) 京都でおこった戦乱をきっかけに、都を平安京から藤原京に移した。
- (イ) 昔からの細かいしきたりを守り、さまざまな儀式や年中行事をおこなうことをおもな仕事とした。
- (ウ) 日本の成り立ちを国の内外に示すため、『古事記』・『日本書紀』という歴史の本をつくった。
- (エ) 仏教を通して世の中の不安をしずめ、政治の安定をはかるため、国ごとに国分寺を建てた。

問2 下線部(イ)の平氏政権に関連して述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

- X 平氏一族のはん栄を願って、厳島神社にお経を納めた。
Y 宋との貿易をさかんにして貿易の利益を得ようと考え、兵庫の港を整えた。

- (ア) X : 正 Y : 正 (イ) X : 正 Y : 誤 (ウ) X : 誤 Y : 正 (エ) X : 誤 Y : 誤

問3 下線部(ウ)の竹崎季長について述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

- X 火薬兵器を用いて集団戦法をとる元軍に対し、一騎討ちをいどんだ。
Y 恩賞の領地をもらうため、鎌倉にある幕府の役所まで行き、直接自分の手がらをうったえた。

- (ア) X : 正 Y : 正 (イ) X : 正 Y : 誤 (ウ) X : 誤 Y : 正 (エ) X : 誤 Y : 誤

問4 下線部(エ)に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく並べかえたものを、下の中から1つ選びなさい。

- Ⅰ 幕府は、御家人を地方の守護や地頭につけることを、朝廷に認めさせた。
- Ⅱ 幕府は、御家人を対象とする裁判の基準として、御成敗式目を定めた。
- Ⅲ 源頼朝の妻の北条政子が「頼朝の御恩」をうったえると、御家人たちは団結して京都の朝廷軍を破った。

- (ア) Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ (イ) Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ (ウ) Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
(エ) Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ (オ) Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ (カ) Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問5 【C】の文中の空らん□にあてはまる地名を、次の中から1つ選びなさい。

- (ア) 桶狭間 (イ) 関ヶ原 (ウ) 長篠 (エ) 一ノ谷 (オ) 石橋山

問6 下線部(オ)に関連して、織田信長は鉄砲を入手するために鉄砲生産地を直接支配下におきますが、それはどこか、次の中から1つ選びなさい。

- (ア) 種子島 (イ) 博多 (ウ) 堺 (エ) 京都 (オ) 山口

問7 下線部(カ)について、信長・秀吉は、全国統一を進めながら、次々と新しい政策をおこないました。信長・秀吉の政策について述べた文として正しいものを、次の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

- (ア) 商業の中心地である大阪を起点に、東海道や中山道などの五街道を整備した。
- (イ) 農民のいっせいを防ぎ、さらに、農民と武士との身分を区別するため、農民から刀などの武器を取り上げた。
- (ウ) 役人を派遣して、村ごとに田畑の価格や所有者を調べ、その田畑の価格に応じて税を取ることにした。
- (エ) 仏教勢力に対抗するためもあって、キリスト教を保護し、教会や学校を建てることを認めた。
- (オ) 特定の商工業者に、商品の製造・販売の独占を認め、それ以外の商工業者の活動を認めなかった。

問8 下線部(キ)に関連して、明治初期に政府がすすめた改革について述べた文として誤っているものを、次の中から1つ選びなさい。

- (ア) 国民はみな平等とされ、職業や住む場所を自由に選べるようになった。
- (イ) 政府が地主から買い取った農地が、小作農に安く売りわたされた。
- (ウ) 6歳以上の男女はすべて小学校に通うように定められた。
- (エ) 満20歳になった男子は、士族と平民の区別なく、3年間軍隊に入ることが義務づけられた。

問9 下線部(ク)に関連して、こうした動きを自由民権運動といいます。この運動について述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

X 民権派の国会開設の求めに対し、政府は1890年に国会を開くことを約束した。

Y 国会の開設に備え、板垣退助は立憲改進黨、大隈重信は自由党という政党をつくった。

- (ア) X : 正 Y : 正 (イ) X : 正 Y : 誤 (ウ) X : 誤 Y : 正 (エ) X : 誤 Y : 誤

- 2 ある中学校の社会科の授業で「日本の都道府県を1つ選んで、さまざまな産業について調べる」という宿題が出されました。次の文は、3人の生徒が調べたことを発表したようすです。これを読み、後の問いに答えなさい。

Aさん：私は<a>県を調べました。(ア)農業では県内の各地で稲作や野菜栽培、養鶏がさかんですが、とくに北部の高原地帯での肉牛や乳牛の飼育、島しょ部でのレモンなどの果樹栽培が特徴的です。また沿岸部では、(イ)かきなどの養殖漁業がさかんで、地域の特産品にもなっています。工業では、沿岸部に工業地域が広がっていて、《X》。この県には世界遺産が2つもあり、1つは古い歴史をもつ神社、もう1つは平和学習の拠点にもなっている歴史的な建物です。そのため修学旅行生もふくめ、国内外から多くの観光客が訪れています。

- Bさん：私は県を調べました。この県では、沖合を暖流が流れ、積雪の少ない気候のため、年間を通して農作物の栽培が可能で、沿岸部を中心に野菜や(ウ)お茶の栽培がさかんです。最近では牛や豚のブランド化にも力を入れているようです。また漁業もさかん、まぐろやかつおなどの水揚げが有名です。内陸の山地からは水や木材などの天然の資源がもたらされます。さらに東西をつなぐ交通網が古くから発達していて、交通の便がとてもよいです。このような豊かな天然資源や交通の便のよさなどにも支えられ、《Y》。また、火山や湖、温泉地などの観光資源にめぐまれ、毎年たくさんの観光客が訪れています。

Cさん：私は<c>県を調べました。この県では、降水に恵まれた気候のもとで、平野部を中心に稲作や野菜栽培などがさかんです。また(エ)北部の山がちな半島部では、斜面につくられた水田で稲作がおこなわれるほか、地域特産のブランド牛を中心とする家畜の飼育がさかんです。この県の県庁所在地は「百万石の城下町」として江戸時代から発展してきました。県内では金ばくをはじめ、さまざまな(オ)伝統工芸品の生産がおこなわれていて、それらの生産地は人気の観光スポットにもなっています。2015年に新幹線がこの県の県庁所在地まで開通したこともあって、(カ)県外からのアクセスが向上し、観光客も増えたようです。

問1 文中の空らん<a>～<c>にあてはまる県名を、次の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

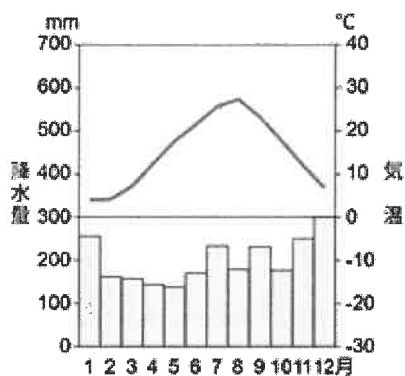
- (あ) 愛知 (い) 石川 (う) 茨城 (え) 岡山
(お) 静岡 (か) 長崎 (き) 広島 (く) 福井

問2 文中の空らん《X》・《Y》には、それぞれの県における特徴的な工業について述べた、次の文①～③の中のいずれかがあてはまります。《X》・《Y》に該当する文の組み合わせとして最も適当なものを、下の(あ)～(か)の中から1つ選びなさい。

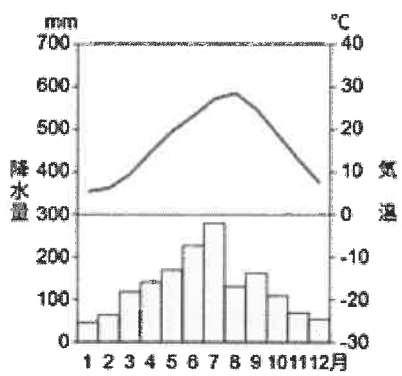
- ① 自動車やバイクなどの輸送用機械の製造業や、紙・パルプ工業がさかんであるほか、楽器の生産では日本最大です
② 自動車や船といった輸送用機械の製造業と鉄鋼業を柱として、これらの工業を支える機械器具の生産がさかんです
③ 日本最大級の造船会社を中心に造船業がさかん、紙・パルプ工業や繊維工業、石油化学工業などが発達しています

- (あ) X : ① Y : ② (い) X : ① Y : ③ (う) X : ② Y : ①
(え) X : ② Y : ③ (お) X : ③ Y : ① (か) X : ③ Y : ②

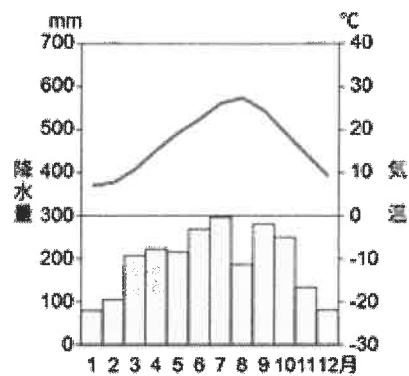
問3 次の図①～③は、文中の空らん<a>～<c>のいずれかの県の県庁所在地について、月別の平均気温と降水量を表したものです。<a>～<c>と①～③の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(か)の中から1つ選びなさい。



①



②

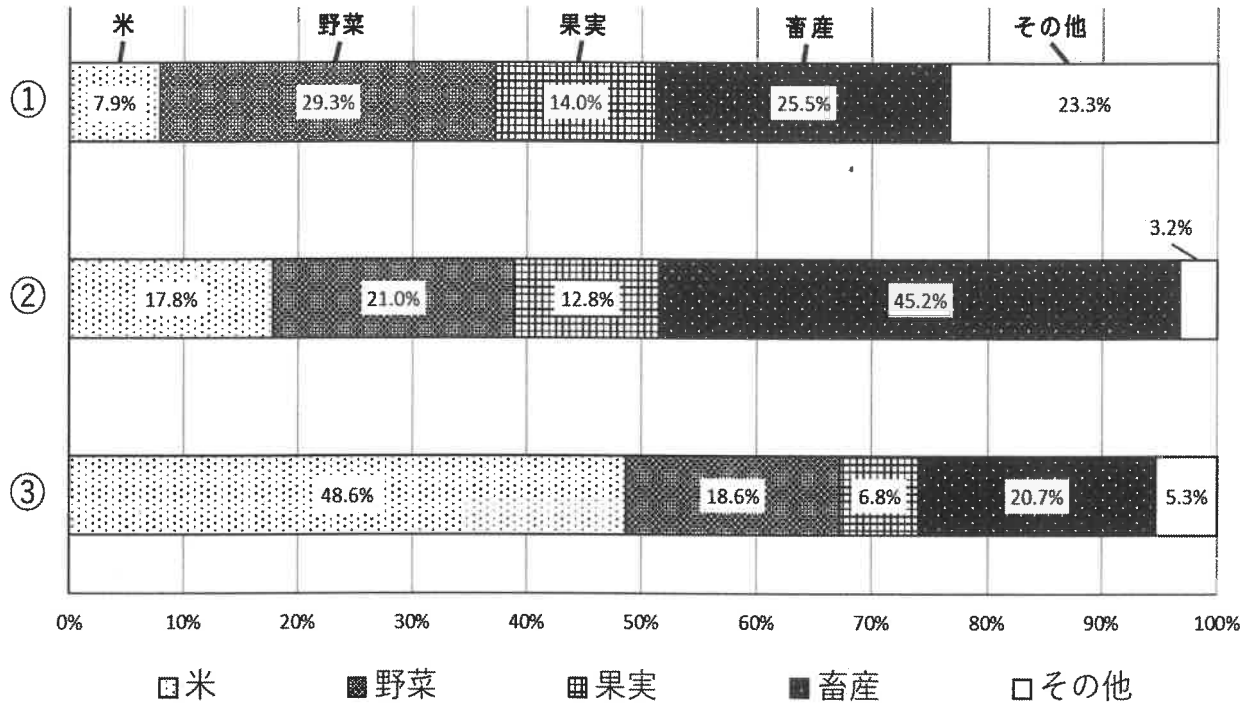


③

(『理科年表』より作成)

	< a >	< b >	< c >
(あ)	①	②	③
(い)	①	③	②
(う)	②	①	③
(え)	②	③	①
(お)	③	①	②
(か)	③	②	①

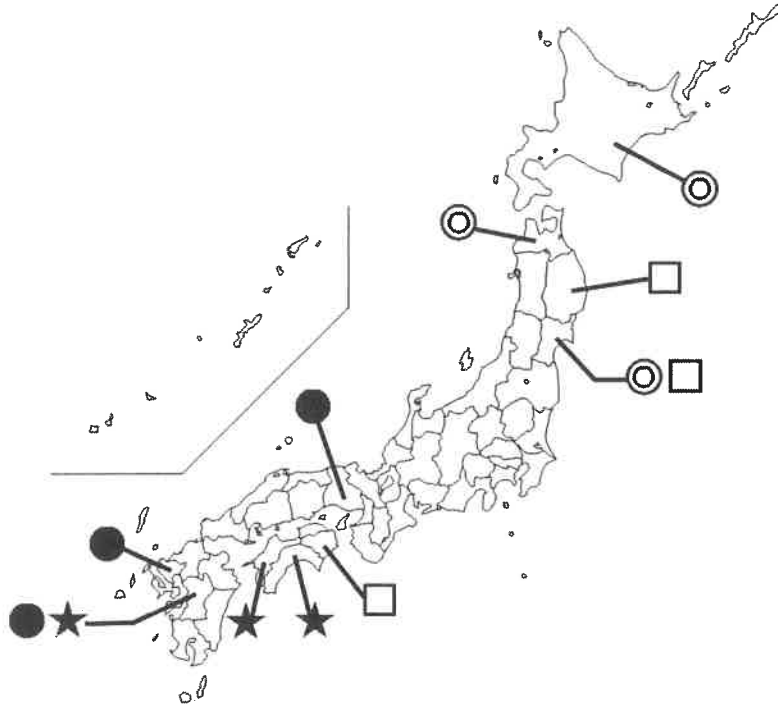
問4 下線部(ア)に関連して、次の図中の①～③は、文中の空らん<a>～<c>のいずれかの県について、2023年の農業産出額における米・野菜・果実・畜産などの割合を表したものです。<a>～<c>と①～③の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(か)の中から1つ選びなさい。



(『データブック オブ・ザ・ワールド2025』より作成)

	< a >	< b >	< c >
(あ)	①	②	③
(い)	①	③	②
(う)	②	①	③
(え)	②	③	①
(お)	③	①	②
(か)	③	②	①

問5 下線部(イ)に関連して、全国各地ではさまざまな種類の海産物の養殖がおこなわれています。次の図中には4種類の海産物の養殖収穫量上位3都道府県(2023年)が示されており、◎・□・★・●は、まだい、ほたて、わかめ類、のり類のいずれかです。□にあてはまる海産物名を、下の(あ)～(え)の中から1つ選びなさい。



(農林水産省統計資料より作成)

- (あ) まだい (い) ほたて (う) わかめ類 (え) のり類

問6 下線部(ウ)に関連して、日本において、一般に良い茶を栽培するのに適した条件とされていることとして誤っているものを、次の中から1つ選びなさい。

- (あ) 冬でも温暖であること (い) 降水量が適度に多いこと
(う) 水もちの良い平地であること (え) 朝晩の寒暖差が大きいこと

- 問7 下線部(エ)に関連して、次の写真は、半島北部にある白米千枚田とよばれる棚田のようすを写したものです。この白米千枚田は、海に面した約4ヘクタールの斜面に約1000枚もの小さな水田が連なる棚田で、農林水産省の「つなぐ棚田百選」や文化庁の「国指定文化財名勝」にも指定されています。棚田について一般的に言えることについて述べた下の文(あ)～(え)の中から、不適当なものを1つ選びなさい。



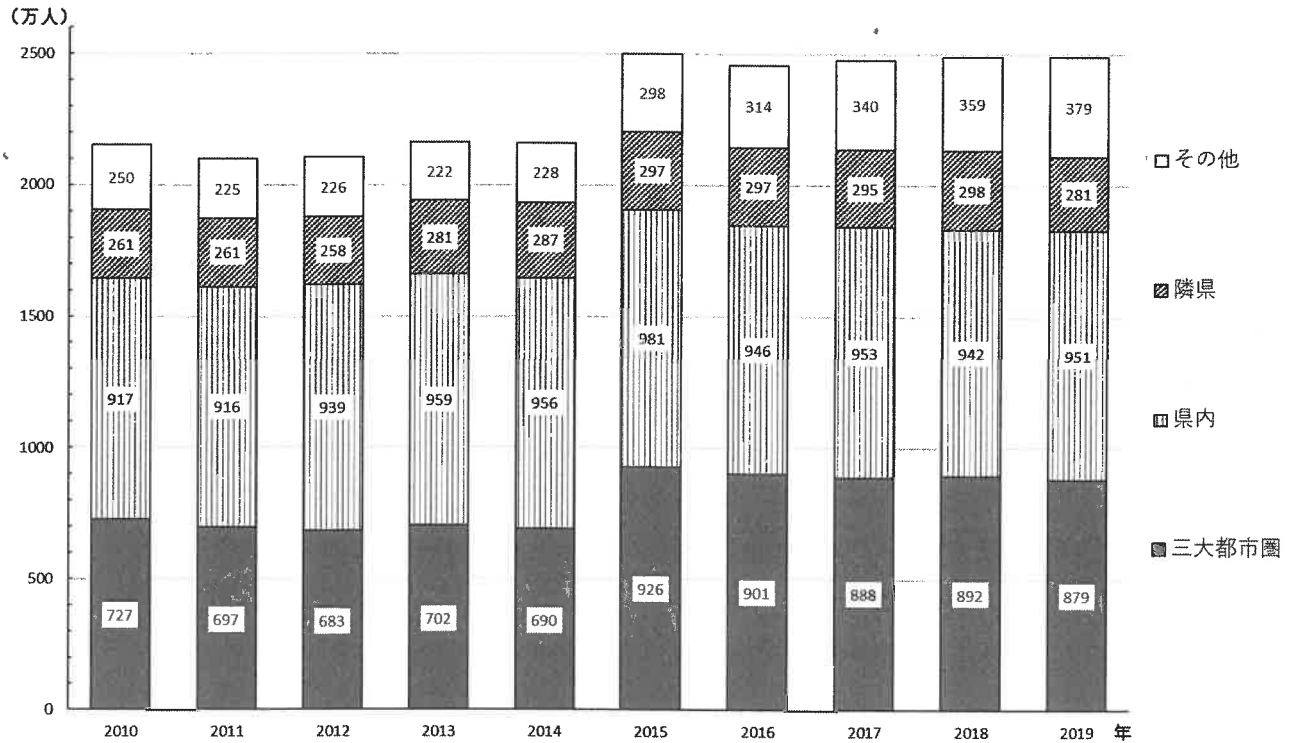
- (あ) 年間を通して棚田に人の手が入ることで、土砂くずれが起こりにくくなっている。
 (い) 斜面で日当たりが良いため、面積あたりの収穫量は平地の水田より多い。
 (う) 棚田の景観が観光資源として活用されており、地域活性化に役立っている。
 (え) あぜや水路などが多様な生き物のすみかとなり、生物多様性の保全に役立っている。
- 問8 下線部(オ)について、次の写真は、国の伝統工芸品にも指定されている<c>県の代表的な工芸品の製作のようすを示しています。この工芸品について述べた文としてふさわしいものを、下の(あ)～(う)の中から1つ選びなさい。



- (あ) 400年の歴史をもつ銅器です。当初は、なべや釜、鍬などの日常品や農具が中心でしたが、やがて茶器や花器、さらに仏具などもつくられるようになりました。国内の銅器生産の約9割を、この銅器の生産地域がしめています。
- (い) 江戸時代のはじめごろに基礎が確立されたといわれる漆器です。下地に「地の粉(珪藻土)」を使い、漆を何重にも塗り重ねる技法により、固くてじょうぶな食器などがつくられるようになりました。江戸時代の中に、蒔絵などの装飾をほどこす華やかな漆器として発展しました。
- (う) 豊臣秀吉の朝鮮出兵を契機に、渡来した陶工により、日本初の磁器として始まった焼き物です。地元の陶石を用いて生産され、赤絵や色絵など独自の技法を確立しました。ヨーロッパにも輸出され、日本を代表する磁器になっています。

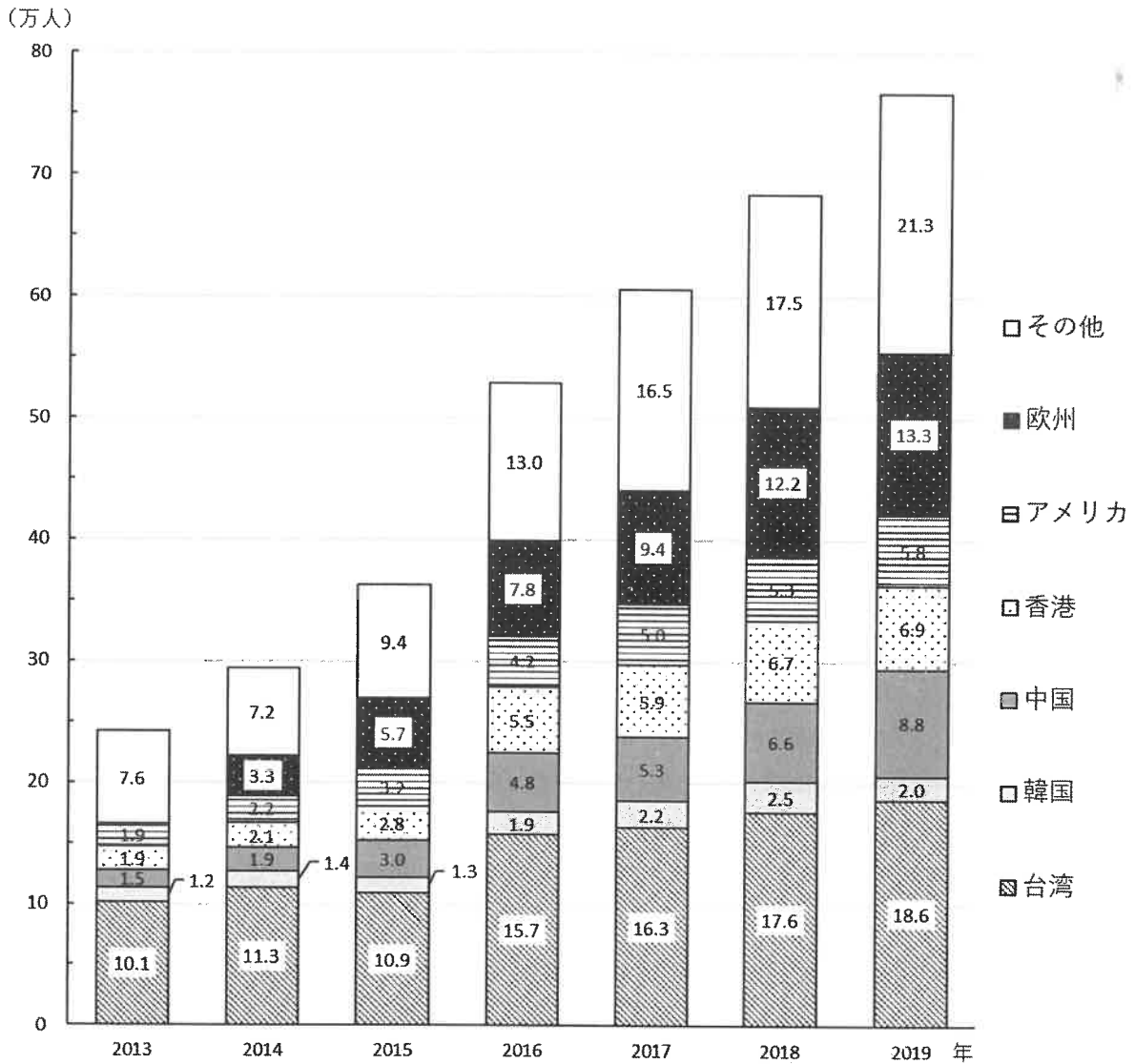
問9 下線部(カ)に関連して、次の図1・図2は、< c >県が公表している観光に関する統計資料から作成したもので、図1は出発地別観光入り込み客数*の推移を、図2は外国人宿泊者数の推移を示しています。これらの図が示す期間内における、この県を訪問した観光客の動きについて述べた下の文(あ)～(え)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

*観光入り込み観光客数…日帰り・宿泊を問わず、県を訪れたすべての観光客を合算した延べ人数の推計値。



※隣県…この県と東西で接する2県を指す

図1 出発地別観光入り込み客数の推移(推計)



※2013年の欧州は「その他」に含まれている。

図2 外国人宿泊者数の推移

(＜c＞県の観光統計資料より作成)

- (あ) 新幹線がこの県の県庁所在地まで開通した年の観光入り込み客の総数は、前年より500万人以上は増加していない。
- (い) 新幹線がこの県の県庁所在地まで開通した年には、^{さんだいとしけん}三大都市圏からの観光入り込み客数の割合が前年の割合と比較すると増加している。
- (う) 外国人宿泊者数の前年比の増加率が最大になったのは、新幹線がこの県の県庁所在地まで開通した年である。
- (え) 新幹線がこの県の県庁所在地まで開通する前の2014年と開通後の2019年を比較すると、外国人宿泊者数全体にしめる「台湾・韓国・中国・香港の合計数」の割合は、2019年の方が低い。

3 次の文を読み、後の問いに答えなさい。

人は、新しい道具をつくったり素材を見つけたりするたびに、生活や社会の姿を大きく変えてきました。昔の人は木や骨などでつくった道具も使っていましたが、それらの中でも、石器はかたくて丈夫だったので、狩りや木を切るのに用いられました。やがて、石をみがいて刃を鋭くする磨製石器が発明されると、木を切ったり農具をつくったりする仕事はかどるようになり、このことも(ア)農業の広がりにつながりました。

紀元前 3000 年ごろ、メソポタミアやエジプトでは鉱石から(イ)金属を取り出す技術が進んだため、銅をおもな材料とする青銅器の使用が広がりました。さらに、地域によっては紀元前 1500 年ごろには、もっと硬くて丈夫な鉄器が使われ始めました。金属でつくられた農具は丈夫で、作業を効率化することができたので、食料の増産を可能にしました。

このように生活や生産の基本が整うと、人々は遠くの地域とつながるための道具や技術にも目を向けました。たとえば、11～12 世紀ごろに実用化された羅針盤は、正確な航海を可能にし、貿易を活発にしたのです。一方で同じころ、(ウ)活版印刷が発明され、本などを大量に、しかも安くつくれるようになりました。こうした発明や発見が重なったことによって、(エ)人々の交流や学問がさかんになりました。

18 世紀後半におこった(オ)産業革命は、それまでの発見や発明なども土台となり、社会に変化を与えました。たとえば、蒸気機関を利用した機械の発明によって工業製品の大量生産ができるようになりました。その後、19 世紀後半になると、発電機や電灯、内燃機関などが次々と実用化され、(カ)電気や石油を使う新しい機械が広まっていきました。これらの技術を利用して、交通の面でも変化がおきました。たとえば 19 世紀前半から(キ)鉄道が登場し、各地で鉄道網が整備されました。鉄道は長距離を短時間で、しかも大量に人や物を運べる交通手段として発展したのです。さらに 19 世紀後半になると、内燃機関を利用した(ク)自動車が登場し、より自由に運べる手段として広まっていきました。これらの発展により、市場の拡大や都市化がすすみ、人々の生活も変わっていきました。

このような流れの中で、19 世紀以降は離れた場所とすぐに連絡をとったり情報を伝えるための道具が求められるようになりました。(ケ)19 世紀は、おもに電信という技術が使われましたが、のちに電話やラジオ、さらにテレビが広まりました。これにより、情報や文化が国をこえて伝わるようになり、世界が近く感じられる社会になりました。

(コ)第二次世界大戦のあと、(カ)軍事や科学の研究で育った技術をもとにコンピュータが発達しました。これにより、情報をあつかう速さや量が大きく進歩し、企業や政府はたくさんのデータを使えるようになり、経済の発展に役立ちました。(シ)近年では、ロボットや AI (人工知能) の技術が急速に発展し、さまざまな分野で導入されるようになりました。これによって、仕事の効率化や新しい産業の誕生といったメリットがある一方で、(ス)さまざまな課題も出てきています。

問1 下線部(7)に関連して、以下の設問に答えなさい。

- (1) 日本で米づくりが広がったのは弥生時代^{やよい}になってからです。これについて、この時代に使われた次の農具X・Yとそれについて説明したa・bとの組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(え)の中から1つ選びなさい。

X



Y



a ^{いなほ}稲穂をかり取るための道具

b 水田に入って田植えをするための道具

(あ) X-a

(い) X-b

(う) Y-a

(え) Y-b

- (2) 農作物には原産地があり、そこから他の地域にも栽培が広がっていき、世界各地で栽培されているものもあります。その例として、三大穀物ともよばれる米、小麦、とうもろこしがあります。次の①～③の文は、米、小麦、とうもろこしのいずれかについて述べた説明文です。また、下の表中のA～Cは、これらの農作物のいずれかについて、世界の総生産量の推移と2022年の総生産量に対する総輸出量の割合を示しています。説明文と表において、米と小麦それぞれに当てはまるものの正しい組み合わせを、下の(あ)～(け)の中から1つずつ選びなさい。

<説明文>

- ① 原産地は中南米周辺と考えられている。夏に高温な地域で広く栽培されることが多い。家畜のえさ^{じゅうよう}として需要が高まり、三大穀物の中で生産量の伸び^のがとくに大きく、世界中に輸出されている。近年ではバイオ燃料の原料用としても生産が増加している。
- ② 原産地はインドから中国にかけての降水量の多い地域と考えられている。生育期に高温・多湿^{たしつ}な気候となる地域で栽培されることが多い。面積あたりの収穫量が多いため、生産国内の多くの人口を支えることができる。品種改良が進められ、アフリカ諸国での栽培も増加している。
- ③ 原産地は西アジア周辺と考えられている。生育期に冷涼・湿潤^{れいりょう しつじゅん}で、収穫期に温暖・乾燥の気候となる地域で栽培されることが多い。北半球・南半球とで収穫期が異なり、一年中、世界のどこかで収穫されており、世界中に輸出されている。

(生産量の単位：万トン)

	2000年の総生産量	2010年の総生産量	2022年の総生産量	2022年の総生産量に対する総輸出量の割合
A	57,632	65,088	80,844	23.1%
B	59,885	67,202	77,646	7.2%
C	59,079	84,441	116,350	18.0%

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2003』、『データブック オブ・ザ・ワールド 2013』、『世界国勢図会 2024/25』より作成)

	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)	(き)	(く)	(け)
説明文	①	②	③	①	②	③	①	②	④ ③
表	A	A	A	B	B	B	C	C	C

問 2 下線部(イ)に関連して、以下の設問に答えなさい。

(1) 次の遺跡のうち、鉄器や青銅器などの金属器が発見されていないものを1つ選びなさい。

(あ) 吉野ヶ里遺跡 (い) 三内丸山遺跡 (う) 登呂遺跡 (え) 板付遺跡

(2) 金属は工業や科学技術の発展にともなうて、さまざまな用途で利用されるようになっていいます。次の文

①～③は、金、アルミニウム、リチウムのいずれかの金属の特徴と現代的な用途について述べたものです。金属名と文との組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(か)の中から1つ選びなさい。

- ① 軽くてさびにくいので、鉄道車両の車体や航空機の機体などに使われている。
 ② 金属の中で最も軽くエネルギー密度が高いため、電気自動車の蓄電池などに使われている。
 ③ 電気をよく通すので、精密機械や電子部品などに使われている。

	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)	(か)
金	①	①	②	②	③	③
アルミニウム	②	③	①	③	①	②
リチウム	③	②	③	①	②	①

問 3 下線部(ウ)に関連して、以下は、日本で活版印刷術が広がったころに出版された『学問のすゝめ』の一部です。この本の著者について説明したX・Y、内容について説明したa・bのうち、正しいものの組み合わせとして適当なものを、下の(あ)～(え)のうちから1つ選びなさい。

むかしから漢学者に社会生活が上手なものは少なく、また和歌が上手くて、かつ商売が上手いという人はまれだ。このために、心ある町人や百姓は、自分の子が学問に一生懸命になるのを見て、やがて家の財産を失ってしまうだろうと、親心として心配するものもある。これは当然のことだ。こうした学問が実用に役立たず、日常生活には使えないあかしであるからだ。

そうだとすれば、いま、こうした実用性のない学問はとりあえず後回しにし、一生懸命にやるべきは、普通の生活に役に立つ実学である。たとえば、いろは四十七文字を習って、手紙の言葉や帳簿の付け方、そろばんの稽古や天秤の取り扱い方などを身につけることをはじめとして、学ぶべきことは非常に多い。

<著者について>

X この著者は、第一国立銀行など多くの会社の設立にかかわった。

Y この著者は、慶応義塾を設立し、一国の独立は個人の独立にもとづくことを主張した。

<内容について>

a あらゆる分野の学問は、みな同じように価値のあるものであるから、好き嫌いせずに勉学に励む姿勢を重視している。

b 学問にはさまざまな分野のものがあるが、その中でも実生活の役に立つものを重視して学ぶべきだとしている。

(あ) X-a (い) X-b (う) Y-a (え) Y-b

問4 下線部(エ)に関連して、日本と中国の交流について述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

X 唐^{とう}からやってきた行基が、日本に正式な仏教の教えを伝えた。

Y 雪舟^{せつしゅう}は明にわたって水墨画^{すいぼくが}を学び、帰国後にすぐれた絵をかいた。

(あ) X : 正 Y : 正 (い) X : 正 Y : 誤 (う) X : 誤 Y : 正 (え) X : 誤 Y : 誤

問5 下線部(カ)に関連して、日本でも19世紀後半に産業革命が始まり、工業化が進みました。その中で政府は重工業に力を入れるために官営の八幡製鉄所を設立しました。これについて、八幡製鉄所が建設された時期として正しいものを、下の年表の(あ)～(え)の中から1つ選びなさい。

1877年 西南戦争がおこる
↓ (あ)
1894年 日清戦争がおこる
↓ (い)
1904年 日露戦争がおこる
↓ (う)
1914年 第一次世界大戦がおこる
↓ (え)
1937年 日中戦争がおこる

問6 下線部(カ)に関連して、電気の利用がますます進む今日、世界ではさまざまな方法で発電がおこなわれています。次の表は、世界の発電量上位10か国中の4か国における発電エネルギー源別割合(2022年)を示しており、表中のA～Dは、日本、中国、ドイツ、アメリカ合衆国のいずれかです。BとDに当てはまる国名を、下の(あ)～(え)の中から1つずつ選びなさい。

順位	国名	火力(%)	水力(%)	原子力(%)	再生可能エネルギー* (%)
1位	A	64.8	15.1	4.7	15.4
2位	B	60.0	6.2	17.9	15.9
5位	C	68.4	8.4	5.5	17.6
9位	D	48.4	4.1	6.0	41.6

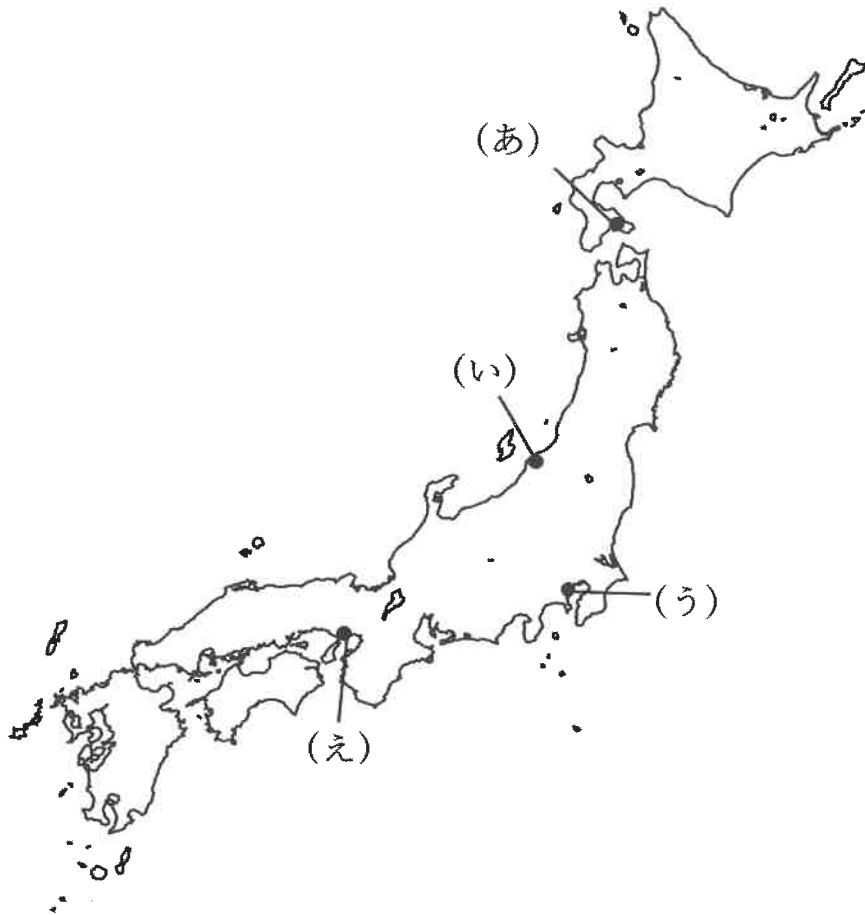
*水力を除く。風力、太陽光、バイオ燃料、地熱、潮力など。

(『データブック オブ・ザ・ワールド2025』より作成)

(あ) 日本 (い) 中国 (う) ドイツ (え) アメリカ合衆国

問7 下線部(キ)に関連して、以下の設問に答えなさい。

- (1) 政府の産業育成策の一つとして、1872年に日本で初めて鉄道が開業しました。このときに鉄道が通った場所はどこか、地図の中から1つ選びなさい。



(2) 鉄道は都市交通機関のように短距離のものから大陸横断鉄道のような長距離のものまで、さまざまなものがあります。次の表は、ある中学校の生徒が世界のいくつかの国における鉄道の営業キロ*と鉄道輸送量**（旅客輸送量・貨物輸送量）を調べて表にしたもので、下はこの表について生徒たちが述べた会話文です。表中のA～Eには、下の（あ）～（お）のいずれかの国が当てはまります。AとDに当てはまる国を、（あ）～（お）の中から1つずつ選びなさい。

*鉄道営業を公示した区間をキロメートルで示したもの。

**旅客輸送量＝旅客数（人）×移動距離（km）。貨物輸送量＝貨物重量（t）×移動距離（km）。

	営業キロ (km)	旅客輸送量 (百万人キロ)	貨物輸送量 (百万トンキロ)
A	148,553	(※1) 12,460	2,239,401
B	109,767	946,499	(※2) 3,018,200
C	85,544	103,447	2,638,562
インド	68,103	231,126	719,762
D	33,401	(※1) 58,822	123,067
E	27,517	289,891	18,041

統計年次は2021年（※1は2020年。※2は2019年）

『データブック オブ・ザ・ワールド2025』より作成

たけしさん：営業キロが長い国は、貨物輸送量が大きい傾向にあるね。いずれも面積が大きい国だなあ。きっと鉱産資源などを鉄道で遠くまで運んでいるんだね。

しのぶさん：そうみたいね。そういう国々の中でみると、貨物輸送量はとても大きいのに、旅客輸送量は小さい国もあるのが不思議だね。

たけしさん：高速道路や空港が全国各地で発達していて、新幹線のような高速鉄道がほとんど発達していない国は、旅客輸送量がのびないんじゃないかな。それに対して、すでに高速鉄道が開発されていて、路線もどんどん増えている国は、旅客輸送量も大きいってことだろうね。高速鉄道もあると、国全体が連休になる時期にも多くの人が帰省などのために鉄道で移動するから、旅客輸送量は増えるだろうね。

しのぶさん：そのとおりかも。あと、営業キロが短い2か国についてだけど、さっき話した国々くらべると国土面積も小さくて、調べてみたら同じくらいの面積だったよ。この2か国をみると、旅客輸送量・貨物輸送量の方が大きいけど、もう一方が小さくなっていて面白いね。

たけしさん：本当だね。一方は大陸の国で、もう一方は海に囲まれた島国だね。大陸の国は島国の国にくらべて船よりも鉄道を使った貨物輸送が多くなりそう。それに後者の国では、第二次世界大戦後に初めて高速道路が建設されるようになって、トラックによる貨物輸送が増えたことも、鉄道の貨物輸送量が小さい理由じゃないかな。

しのぶさん：そうね。貨物輸送量は小さくなっているけど、大都市を中心に通勤・通学で多くの人が毎日鉄道を利用しているから旅客輸送量がとても大きいんだね。

（あ）日本 （い）中国 （う）ロシア （え）ドイツ （お）アメリカ

問8 下線部(カ)に関連して、第二次世界大戦後、日本でも自動車が普及するとともに、日本の自動車メーカーが成長・発展をとげました。日本の自動車メーカーに関する以下の設問に答えなさい。

(1) 日本の自動車メーカーの組立工場は、世界に先がけてそれまでにはなかった生産の方式を取り入れて、効率的な生産に成功しました。この方式は「ジャストインタイム」とよばれています。この方式がそれまでの生産のしくみとちがう点について説明した文として最もふさわしいものを、次の(あ)～(え)の中から1つ選びなさい。

(あ) メーカー本社が部品の在庫を集中管理するため、バーコードを使用して本社から組立工場へ部品を直接とどける。

(い) 災害や国際情勢の変化などの影響を受けず生産を続けるため、メーカーの組立工場は、関連工場からあらかじめ多めの部品を供給してもらう。

(う) スムーズに正確な組立をおこなうため、メーカーの組立工場ではベルトコンベアとロボットを使って流れ作業をおこなう。

(え) 部品の在庫を徹底的に減らすため、必要な時に必要な量の部品だけを関連工場からメーカーの組立工場に届けてもらう。

(2) 日本の自動車メーカーは国内生産だけでなく海外での現地生産もさかんにおこなっています。このことに関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

X 日本のメーカーが現地生産をおこなう海外の工場の合計数は、北アメリカ地域の方がアジア地域よりも多い。

Y 日本のメーカーによる海外での現地生産台数の総数は、日本国内の生産台数の総数を上回っている。

(あ) X : 正 Y : 正 (い) X : 正 Y : 誤 (う) X : 誤 Y : 正 (え) X : 誤 Y : 誤

問9 下線部(カ)に関連して、次の文は電信、電話、ラジオ、テレビが登場したころの特徴を示したものです。

ラジオにあてはまるものを次の中から1つ選びなさい。

(あ) 無線で音声と映像を不特定多数へ届ける一方向の放送です。

(い) 無線で音声の不特定多数へ届ける一方向の放送です。

(う) 有線で音声を経路を変えて送る一対一の双方向通信です。

(え) 有線でモールス符号などを送る一対一の通信です。

問10 下線部(コ)に関連して、以下の設問に答えなさい。

- (1) 日本は真珠湾攻撃によって第二次世界大戦に参戦し、これにより日本の戦場はアジア・太平洋一帯に広がりました。この真珠湾攻撃以降のできごとについて述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の中から1つ選びなさい。

X アメリカが日本への石油輸出を禁止した。

Y 日本がフィリピンを占領した。

- (あ) X:正 Y:正 (い) X:正 Y:誤 (う) X:誤 Y:正 (え) X:誤 Y:誤
- (2) 第二次世界大戦終結後のできごとを示した次のⅠ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく並べかえたものを、下の中から1つ選びなさい。

Ⅰ 日本の国際連合への加盟が認められた。

Ⅱ 石油危機が発生した。

Ⅲ アジアで最初のオリンピックが東京で開かれた。

(あ) Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ (い) Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ (う) Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ

(え) Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ (お) Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ (か) Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

問11 下線部(サ)に関連して、もともと軍事や科学の研究で発達した技術を利用して、世界の人々がコンピュータを通じて情報をやり取りできるようになりました。この世界規模の通信網を何といいますか。

問12 下線部(シ)に関連して、次のX～ZはAIの具体的な活用例、①～③はAIを活用する目的や理由を説明したものです。X～Zに最も関係の深いものを、①～③からそれぞれ1つずつ選び、その組み合わせとして適当なものを、下の(あ)～(か)から1つ選びなさい。

<具体的な活用例>

X 工場の製造ラインでは、画像認識AIが製品の小さな傷やよごれ、形状のゆがみなどを瞬時に見つけ出します。

Y 飲食店では、AIが搭載されたアームロボットが調理の一部をおこなっていたり、配膳ロボットが導入されたりしています。

Z 製薬会社では、AIが医学論文や遺伝子データを解析します。

<AIを活用する目的や理由>

① アルバイトやパートなどの確保が難しい業界では、働き手不足に対応してAIが活用されている。

② 人間では気づけないようなパターンや関連性をAIが見つけ出し、新しいアイデアを生み出している。

③ 人間の目や感覚に頼っていた仕事をAIに任せることで、ミスを減らし品質を一定に保っている。

(あ) X-① Y-② Z-③ (い) X-① Y-③ Z-② (う) X-② Y-① Z-③

(え) X-② Y-③ Z-① (お) X-③ Y-① Z-② (か) X-③ Y-② Z-①

問13 下線部(ス)に関連して、A I の課題について述べた次の文を読み、その内容に合った説明として最も適切なものを、下の中から1つ選びなさい。

A I は、私たちの生活をととても便利にしてくれるすばらしい技術ですが、使い方を^{まちが}えたり、しくみをよく理解していなかったりすると、思わぬ問題がおこることがあります。ここでは、A I が^{かか}抱えるいくつかの課題について見ていきましょう。

まず、A I は時々、もっともらしい^{うそ}嘘をつくことがあります。これは「ハルシネーション」とよばれていて、例えばA I に「日本の首都は？」と聞いたら、自信満々に「大阪です」と、事実と^{ちが}違う情報を答えてしまうことがあります。正しい情報かどうか、自分で確認することが大切です。この「嘘をつくる」技術が悪い目的で使われると、さらに深刻な問題がおこります。有名人の顔と声を勝手に使って、本人が言ってもいないことを話しているかのような^{にせ}偽の動画がつけられ、広まってしまうのです。これは「ディープフェイク」とよばれ、大きな社会問題になっています。

また、A I に^{あた}情報を与える際の管理にも注意が必要です。A I に学習させるために会社の秘密情報や個人のメールアドレスなどを入力したら、その情報がA I を通して他の人にもれてしまう可能性があります。大切な情報をむやみに入力しないように気をつけなければなりません。さらに、A I がつくり出したものが、知らないうちに^{だれ}誰かの権利を傷つけてしまうこともあります。例えば、A I がつくったイラストが、実は有名なキャラクターにそっくりで、知らないうちに著作権を^{しんが}侵害してしまうかもしれないのです。

- (あ) A I には深く学習するディープフェイクというしくみがあるので、事実と異なる情報を回答することはない。
- (い) A I が生成したイラストや文章は、すべて著作物として法律で保護されるため、誰でも自由に利用しても問題はない。
- (う) 有名人の偽の動画を作成して拡散させるなど、A I の技術が悪用された例が社会問題となっている。
- (え) A I はセキュリティを強化しており、入力した内容について学習することはないので、個人情報や企業の機密情報をA I に入力しても他の人にもれる心配はない。

※小計・合計らんには記入しないこと

1

1		2	
3		4	

問1

問2

問3

問4

問5

問6

問7信長秀吉

問8

問9

2

問1abc

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9

小計

小計

※小計・合計らんには記入しないこと

3

問1(1)

(2)米

小麦

問2(1)

(2)

問3

問4

問5

問6B

D

問7(1)

(2)A

D

問8(1)

(2)

問9

問10(1)

(2)

問11

問12

問13

小計

合計

受験番号		氏名	
------	--	----	--